

2025 年 10 月 28 日

日本台湾学会会員各位
台湾史研究会会員各位

日本台湾学会第 23 回関西西部会研究大会

錦秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

下記の要領で日本台湾学会第 23 回関西西部会研究大会を開催いたします。例年どおり、リモート配信も行いますので、皆様にはオンライン上でもふるって御出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当大会は、日本台湾学会と台湾史研究会との共催で運営しております。

記

日時：2025 年 12 月 20 日（土） 10 時～ 受付開始

会場：南山大学 Q 棟 103 教室（〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18）

アクセス <https://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

キャンパスマップ <https://www.nanzan-u.ac.jp/CMAP/nagoya/campus-nago.html>

参加を希望される方は下記のフォームより 12 月 13 日（土）までにお申し込みください。

※懇親会は席数に限りあるため参加希望の方は早めにお願ひします。定員に達し次第、受付を終了します。

<https://forms.gle/t2ayWCbGhLjvAMS99>

< プログラム >

各研究報告 報告時間 20 分 コメント 5 分 質疑応答 10 分

※リモート参加の評論者有

開会の辞 10 時 30 分

台湾史研究会代表 やまだあつし （名古屋市立大学）

第 1 部 司会 北波道子（関西大学）

第 1 報告 10 時 40 分～11 時 15 分

題目：映画『KANO－1931 海の向こうの甲子園』の表現に見る「台湾」の認識

報告者：三井柚奈（南山大学大学院修士課程修了）

評論：小野純子（金城学院大学）

第2報告 11時20分～11時55分

題目：「台北ゆく春会」の再設立 ―断絶から継承を目指すための俳句―

報告者：李哲宇（名古屋大学大学院）

評論：宮原暁（大阪大学）

第2部 司会 澤井律之（京都光華女子大学）

第3報告 12時50分～13時25分

題目：1937年以降の台湾女性における社会教育の層化と再編

―女子青年団、実業補習学校、青年学校

報告者：宮崎聖子（福岡女子大学）

評論：洪郁如（一橋大学）※

第4報告 13時30分～14時5分

題目：蔡長廷（名古屋大学大学院）

題目：鷹取田一郎と『臺灣列紳傳』の成立について

評論：やまだあつし

第5報告 14時10分～14時45分

題目：来日台湾人支援運動に関する検討―林景明支援運動を中心に

報告者：郭書瑜（一橋大学大学院）

評論：岡野翔太（神戸大学）

第3部 司会 根岸忠（専修大学）

第6報告 15時～15時35分

題目：現代台湾における民間防衛運動の検討

報告者：松田ヒロ子（神戸学院大学）

評論：五十嵐隆幸（防衛研究所）

第7報告 15時40分～16時15分

題目：地域における国際化の文脈から捉える「新移民・新住民」についての考察

―桃園市政府施策の分析を通じた中央と地方の関係における調和度の可視化―

報告者：長屋敦大（日本台湾学会）

評論：横田祥子（滋賀県立大学）

第8報告 16時20分～16時55分

題目：台湾の林政部門における登山者への啓発事業―「無痕山林」から「山林知事村」へ

報告者：松金ゆうこ（筑波大学大学院）

評論：石丸雅邦（慈済科技大学）※

閉会 17 時

懇親会 18 時～20 時

会場 台湾屋台 サリカカ (名古屋市中区大須 3-24-21 052-253-7729)

<https://tabelog.com/aichi/A2301/A230105/23062824/?msockid=11cb8b42a3636ad33e5e9810a2106b59>

会費 5000 円

ご不明の点あれば関西部会幹事・五十嵐真子までご連絡ください。

アドレス crptp041{アットマーク}yahoo.co.jp

{アットマーク}を@に変えて送信ください。

日本台湾学会関西部会幹事 五十嵐真子